

みなさん、こんにちは。今日は、24日に行われた不思議なイベントの様子をレポートします。

● 24日、マイケル・チン&中島由夫コラボ！



マイケル・チンさんは、トイレットペーパーの中…

ちょっと怪しいですね…。ゾウさんは、中島さんとイベントをされたことがあり、名古屋から駆けつけて下さったそうです。

メリケン粉が撒かれ、トイレットペーパーが飛び、床の作品の上をウロウロする白装束の集団を追いかけながら中島さんがペイントしたり…心地よい打楽器の演奏にどっぷり浸って、観客はいつの間にか、シュールで不思議な空間に迷いこみ、楽しんだことでしょう。

24日(日)、打楽器奏者のマイケル・チン氏をゲストに迎えてのコラボレーションイベントが開催されました。左の写真が当日の様子。

クイズ、さて、マイケル・チンさんはどこでしょう？

マイケル・チンさんが打ち響かせるジャンベとガムランの音色が心身に心地よく、小さなお子さんも大人もユラユラ身体を動かさず姿が。もちろん、中島由夫さんの筆も走り、雄たけびをあげ、自らもジャンベを鳴らす場面も。

そして、今回は、不思議な共演者も登場しました。

ゾウさんと白装束の集団です。怪しい集団ではありません…と申し上げたいところですが、



2階から見守る人々
(手前は、陶芸の展示作品)



ジャンベはアフリカの打楽器で、ガムランは小型の木琴のような形のバリの楽器です。小さな二つの楽器と身体だけで、1時間半ほどのイベント。ひきこまれてしまい、身体を動かしたくなって、私もムズムズ…踊りだす勇気はないので、手拍子で参加しました。

イベントに参加して下さった方、いかがだったでしょうか。シュールで不思議な空間、と書きましたが、「わからん」と思われた方もいらっしゃるはず。でも、長時間にわたって多くの方がじっと見守り、時に笑いも起こっていたのが、ちょっと嬉しく思いました。